



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第8号
2009年3月

(ご挨拶)

深谷市議会議員となり、4月で2年となります。皆様の御支援・御協力に心より感謝申し上げます。

初心を忘れることなく、住みよい、暮らしやすい、育てやすい街・深谷の実現ためこれからも活動して参ります。

日頃の議員活動並びに市政状況を、多くの市民の皆様に御報告することで開かれた政治を実現するため、市政レポート第8号を発刊させていただきました。

今後とも皆様の御支援・御協力を宜しくお願い申し上げます。

(議会報告)

深谷市議会平成21年度第1回定例会3月議会が終了しました。

主な議案

- ・平成20年度深谷市一般会計補正予算(第4号)
- ・平成20年度深谷市一般会計補正予算(第5号)
- ・平成21年度深谷市一般会計予算
- (他、31議案、請願3議案)

補正予算(第5号)は、国による定額給付金及び子育て応援特別手当支給事業決定による委任事務を施行するためとして、開会初日即決議案として審議されました。

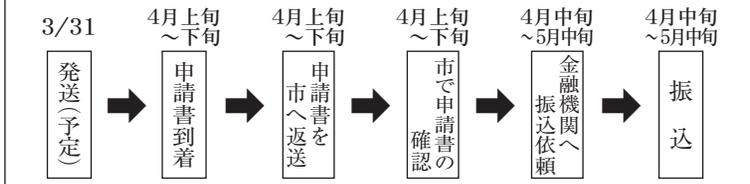
(原案どおり可決承認!)

深谷市内の定額給付金支給総額は約22億2千万円で、支給に際しての事務経費は7千170万円となります。

定額給付金の概算総額

	定額給付金	事務費	合計
国	1兆9,570億円	825億1,300万円	2兆395億1,300万円
埼玉県	1,000億円	40億円	1,040億円
深谷市	22億2,048万円	7,170万円	22億9,218万円

支給時期の目安



※お問合せは、深谷市役所定額給付金担当048-570-4192まで

子育て応援特別手当とは、第2子以降の子が3歳～5歳の子ども(平成14年4月2日～平成17年4月1日生まれ)一人あたり36,000円が支給されるというものです。

子育て応援特別手当(支給時期の目安は定額給付金と同じです)

	子育て応援特別手当	事務費	合計
深谷市	7,920万円	358万円	8,278万円

※お問合せは、

深谷市役所子育て応援特別手当担当048-585-6646まで



国が決めた、定額給付金に関しては、施策としては反対です。何故なら景気浮揚策に繋がるとは考えられないからです。ましてや3年後には消費税率引上げを“にらむ”という「おまけ付」ではなおさらです。

しかし、国で決めたことに反対してもどうにもなりません、深谷市議会として反対して深谷だけ支給されないような事態になった場合、市民の皆様に説明ができません。

よって賛成させていただきました!(賛成多数で可決承認)

※子育て応援特別手当の方は、何故、1・2歳の子どもを含めないのか理由が解りません。

(国政には、国民に説明できる施策を望むばかりです)

平成21年度 深谷市一般会計予算

21年度の予算規模は430億5,500万円で、経済対策をはじめとする施策を積極的に推進すべく、対前年比2%増となっております。

予算規模

(単位:千円)

年度	20年度	21年度	差引	前年対比(%)
一般会計	42,155,000	43,005,500	850,500	2.0
特別会計	21,316,323	18,931,151	△2,385,172	△11.2
企業会計	8,144,088	9,958,402	1,814,314	22.3
計	71,615,411	71,895,053	279,642	0.4

知って得する情報コーナー

深谷市は勿論、国や県の施策には様々なものがありますが、知らないと得しないという仕組みとなっております。その辺をしっかりと調べて市民の皆様に情報提供するのも議員としての大きな役割と認識しております。このコーナーでは、そうした情報の一部を紹介させていただきます。

(詳しくは、市政報告会などで私に質問して下さい)

住宅耐震化補助制度(平成21年から3年間)

昭和56年5月31日以前に着工された住宅の耐震診断に対する補助と、その結果、危険と判断された住宅の新築及び改修に際し補助をします。

補助額:耐震診断一事業費の2分の1以内、限度額5万円

:耐震診断により危険と判断された場合の新築、または改修(補助率3分の1)

・新築(限度額50万円)・改築:通常(限度額50万円)・改修:65歳以上(限度額70万円)

※現在実施している住環境ユニバーサルデザイン化促進事業の補助制度の併用も可能です。

補助限度額	平成21年度	平成22年度	平成23年度
通常	50万円	40万円	30万円
65歳以上	70万円	60万円	50万円

【問い合わせ】深谷市開発指導課 電話:048-574-6655

勤労者住宅資金の貸付枠の拡大

勤労者住宅貸付資金の貸付枠をこれまでの倍に拡大します。

これにより、本貸付制度をこれまで以上に利用しやすいものとし、市内における住宅建築の促進を目指します。

◇現行 1,000万円 → 2,000万円へ拡大

【問い合わせ】深谷市商工振興課 電話:048-574-6650

市政報告会のご案内

下記の日程で市政報告会を開催させていただきます。多くの市民の皆様に活動を報告し、深谷市への要望や御意見がいただければと思います。多くの皆様に気軽に参加していただければ幸いです。

3月29日(日) 午後6時 小前田上集落センター

4月4日(土) 午後6時 花園就業センター(花園商工会2F)

3月16日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



長引きそうな経済不況をにらみ、昨年の9月、12月は緊急経済対策について質問させていただきましたが、今回は中期的な経済対策と将来に向けての施策について提言させていただきました。

『人間としての究極の幸せ!』

障害者雇用率75%。粉の飛び散らない、学校などで黒板に書くチョークの製造販売を手がけられ、今年1月に第7回 渋澤榮一賞を受賞されました、日本理化学工業(株)の大山泰弘会長の言葉に! 「人間としての究極の幸せは4つあり、1つ目は、人に愛されること、2つ目は、人に褒められること、3つ目は、人の役に立つこと、4つ目が、人に必要とされること。そして、1つ目の愛されること以外の3つは、社会に出て、働いてこそ得られるもので、人間は幸せを求め、毎日仕事をするのです。」と述べられていました。

厳しい経済状況の中、働きたくても仕事がない! そんな状況を1日も早く打開するために、誠心誠意、活動させていただきます。議席番号3番、清水健一です。発言通告書に基づき市政一般質問をさせていただきます。

【質問】 産業活力の創出について、

(1) 産業振興に向けた誘致企業と既存企業の交流・連携促進についてですが・・・雇用の創出、自主財源の確保のためには、企業誘致は有効な手段の1つであることは言うまでもありません。しかし、1番の近道は既存企業の収益が上がることではないでしょうか? 収益が上がれば雇用も増え、しいては自主財源の確保にも繋がります。そして、深谷の子どもたちが、将来、安心して深谷の企業に就職できることで、人口の流出を防ぎ、更には人口増につなげていく、そんな観点から質問に入ります。

誘致企業と既存企業の交流を図ることで、新しいビジネスが創造され、更には他の企業誘致の情報が得られるのではと思いますが、交流会等を開催していく考えがあるか聞かせて下さい。

答弁 現在、企業訪問時に、誘致企業と商工会議所などの斡旋も行なっておりますが、更なる交流を深めるために、21年度は交流会を開催し市内経済の活性化を図ると共に、誘致企業の情報を集めて参りたいと思います。

【質問】 (2) 産学官、連携の取組について質問します。

国の施策として「農商工連携促進法」が昨年5月に施行され、全国各地で取組が始まっております。川越市でも農家が作る紅赤芋を地元の酒類卸売業者と連携し「紅赤芋焼酎」として売り出す事業が始まりました。農商工連携の代表例としては、北海道の「花畑牧場」、田中義剛さんが経営されているものですが、以前は社長と従業員1名の状況まで追い込まれたのですが、皆さん御存知の「生キャラメル」などのヒットで、現在は売上約120億円、従業員約1500名の規模にまで成長されております。牛乳としては限られた収益しか得られませんが、加工をするこ

とにより、素晴らしい成果を上げておられます。ご存知のように農業は深谷市の基幹産業です。もしもその農業が崩壊するとなれば市全体がおかしくなりかねません。農商工連携促進を推進していく考えがあるのか聞かせて下さい。

答弁 深谷市には、埼玉工業大学、東都医療大学がありますが、まずは、この2校と産業界の連携を図り、その後、県内の大学や研究機関等とも連携できるか調査研究して参ります。農商工連携につきましては、今後、よく調べて、どんな事業が取り組めるか研究し推進して参ります。

【質問】 市長の施政方針に4度も、その言葉が出ていました“協働のまちづくり”について

深谷市の主権は市民の皆様であり、まちづくりの主体は市民の皆様です。そこで質問します。現在、深谷市内では、多くのボランティア・NPOなどの皆さんが活動されていますが、そのほとんどが会員の確保や、後継者の問題、活動の資金不足などの問題を抱えておられます。「協働のまちづくり」を今後、積極的に推進していくためには、これらの問題解決を含めた、概念の整理や施策の方向性などを共に考え実行していくべきと思います。例えば、活動の対価や寄附と同額を拠出するマッチングファンドの検討、市民活動の事業化支援、更には、パブリック・プライベート・パートナーシップ (PPP) の導入、公民連携の先端を行く、市民提案型公共サービス民営化制度の導入について考えを聞かせて下さい。

答弁 現在、本市では問題の設定、計画の策定、事業の実施、事業実施後の評価、それぞれの段階で協働を実践できる可能性があると捉え、「花フェスタ」や「緑の王国」などで協働の取組を行なっていますが、今後更に研究を重ね、協働のまちづくりを実践してまいります。また、マッチングファンドに関しましては職員研修などを行い検討して参ります。

※ その他、市の有料広告並びに政策提案制度の確立について質問しました。



今回の質問は、大きく3点となりましたが、私が基本に持っていたのは「みんな(協働)で知恵を出し合い! みんな(産学官)で力を合わせて頑張ろう!」というメッセージです。

千葉県我孫子市では、市民提案型公共サービス民営化制度が実施されております。今まで市が行っていた、妊婦健康教室(しあわせママパパ教室) 事業費478万円が、地域の助産師会が提案し直営となり、その委託費は162万円となりました。その他にも、公民館事業の市民大学事業では393万円が93万円に下がった等の成果が出ております。事業の内容も、市民の皆様が高い評価を得ているようです。また、産学官連携を絡めた事例では東洋大学が公民連携専攻課を開設し、様々な地方自治体の実情にあった施策を、市と産業界と共同研究し打ち出しております。全国各地では、経済不況の中、ピンチをチャンスに変えようと一所懸命に努力しているところがあります。

そうです、私達深谷なら、きっとできます。市民の皆様の英知を結集し住みよい深谷市を共に創り上げていきましょう。

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ (48才)

家族構成 父、妻、子供3人 (6人家族) 犬 (オス) 1匹 (名前ショコラ)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- 花園地区青少年健全育成会副会長
- 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。